

道路小規模構造物個別施設計画

令和2年12月

和歌山県橋本市

1. 対象施設

この施設計画の対象となる道路小規模構造物は、道路法第2条第2項に基づく橋本市道路管理者が管理する道路付属物とする。

橋本市道路管理者が管理する道路付属物は以下のとおり。

- (1) 道路側溝（水路）
- (2) 防護柵
- (3) 道路反射鏡
- (4) 道路照明（街路灯を含む）
- (5) 道路標識
- (6) その他橋本市が管理する道路付属物

2. 現状

2.1 管理道路の現状

(1)管理延長と路線数（R2.3時点）

道路区分	管理延長（m）	路線数（本）
1級市道	70,795.3	57
2級市道	61,950.5	48
その他市道	573,161.1	1,971
計	705,906.9	2,076

2.2 小規模構造物の現状

橋本市が管理する道路小規模構造物の多くは、建設から長い年月が経ったものが多く、老朽化が進行している。

3. 維持管理の基本的な考え方

3.1 基本方針

道路小規模構造物の個別施設計画の策定にあたっては、点検結果を踏まえた適切な措置を行うことで、第三者への被害を発生させず、安全で合理的な管理を目指す。

3.2 点検方法・点検頻度

種類	点検方法	点検頻度
道路側溝	目視点検	巡視の機会を通じた状況の把握
防護柵	目視点検	巡視の機会を通じた状況の把握
道路反射鏡	目視点検	巡視の機会を通じた状況の把握
道路照明	目視点検	巡視の機会を通じた状況の把握
道路標識	目視点検	巡視の機会を通じた状況の把握
その他	目視点検	巡視の機会を通じた状況の把握

4. 計画期間

当該個別施設計画の計画期間は5年とする。

ただし、緊急を要する構造物が発生した場合は、その都度更新を行うこととする。

5. 対策の優先順位（補修計画の方針）

構造物の損傷状況、第三者への被害の深刻度、路線の重要性、交通量等を考慮し補修の優先順位を決定する。

優先順位については、評価により決定する。

評価 A：優先順位 高

評価 B：優先順位 中

評価 C：優先順位 低

6. 小規模構造物の状態

令和2年11月末までに点検した小規模構造物点検結果は以下のとおり

種類	点検数量	要対策	備考
側溝	81件	16件	
防護柵			
道路反射鏡			
道路照明			
道路標識			
その他			

7. 対策内容と実施時期

別紙および別図のとおり。

修繕が効率的に実施されるように、その損傷等に最も適した対策・方法・時期を決定する。

8. 記録

点検および撤去・更新、廃止等を行った際には、その内容と実施時期等の履歴を確実に記録し、これを保管する。

■対策が必要な箇所一覧

側溝

令和2年12月現在

番号	種類	路線名称	延長	評価	措置内容	措置実施時期	備考
1	側溝	隅田南部線	80	A	水路改良	R2	
2	側溝	紀陽団地3号線	370	A	水路改修	R2～R6	
3	側溝	紀陽団地4号線	320	A	水路改修	R2～R6	
4	側溝	紀陽団地5号線	25	A	水路改修	R2～R6	
5	側溝	紀陽団地8号線	75	A	水路改修	R2～R6	
6	側溝	紀陽団地9号線	75	A	水路改修	R2～R6	
7	側溝	川端1号線	25	A	水路改修	R2～R6	
8	側溝	外河原7号線	170	A	水路改修	R2～R6	
9	側溝	大野団地3号線	55	B	水路改修	R2	
10	側溝	名倉15号線	33	B	水路改修	R3	
11	側溝	高野口2号線	90	B	水路改修	R3～R5	
12	側溝	隅田南部線	100	B	水路改修	R4～R5	
13	側溝	大野25号線	88	C	敷CON打替	R4	
14	側溝	吉原横断線	20	C	水路壁改修	R5	
15	側溝	細川区内線	45	C	水路壁改修	R6	
16	側溝	戸津井線	380	C	敷CON打替	R6	
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							

